

インフルエンザワクチンについて

Q: インフルエンザワクチンはいつごろ接種するのが効果的でしょうか？



A: インフルエンザに対するワクチンは、個人差はありますが、その効果が現れるまでに通常約2週間程度かかり、約5ヶ月間その効果が持続するとされています。また、過去に同じ型のインフルエンザにかかっているか、ワクチン接種歴が有るか無いかにより、ワクチンの効果が現れるまでに差があると考えられています。多少地域差はありますが、日本でのインフルエンザの流行は12月下旬から3月上旬が中心になりますので、12月上旬までには接種をすまされることをお勧めします。

インフルエンザワクチン接種のお知らせ

今年もインフルエンザワクチン接種を行います。

一般の方(15歳以上)

期間 11月1日～ 負担金 ¥3,000 -
ただし15歳でも中学生の方は不可です。

乙訓地区にお住まいの高齢者の方

対象となる方

接種日時点で65歳以上の方、または60歳以上65歳未満の身障手帳内部疾患一級をお持ちの方

期間 10月20日～12月31日

負担金 ¥1,000 -

以下の方は負担金が免除になります

生活保護受給世帯・非課税世帯(乙訓二市一町により負担金免除の証明が違いますので、詳しくは外来受付までお問い合わせ下さい)

京都市にお住まいの高齢者の方

対象となる方

接種日時点で65歳以上の方、または60歳以上65歳未満の身障手帳内部疾患一級をお持ちの方

期間 11月1日～平成18年1月31日

負担金 ¥1,500 -

以下の方は負担金が免除になります

生活保護受給世帯・非課税世帯

「ピンクリボン」と「ふれあい健康教室」

皆さんはピンクリボンをご存じですか？

ピンクリボンは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークです。女性の8人に1人が



乳がんを患うといわれているアメリカで1980年代から盛んになった市民運動の思いを表しています。日本でも2000年ごろから、日本の乳がん事情に危機感を抱いた専門医などがNPO法人(乳房健康研究会、J.POSH)を立ち上げたり、外資系企業が中心になって独自で啓発イベントを実施したり、ピンクリボンをあしらった商品を販売するなど、乳がんの早期発見を啓発するための活動が盛んになってきました。そして毎年10月をピンクリボン月間と決め様々な活動を行っています。

当院も、ピンクリボン月間初日の10月1日に「もっと知りたい乳がん」というテーマでふれあい健康教室を行いました。当院の乳腺外来担当 井口医師が講師となり、前回の健康教室で勉強した乳がんよりさらに一歩踏み込んだ内容として様々な治療法などについて教室を行いました。



当日は多数の方に参加いただき、スライドの講話のあと、マンモグラフィの写真の展示や、乳がんのしこりを再現した模型を触って、実際のしこりの感触を経験していただくなど、盛りだくさんの内容でした。

お忙しい中ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

献血結果の報告

平成17年10月17日(月) 当院地下駐車場で、京都府赤十字血液センターにより献血を行いました。地域の皆様のご協力で下記の通り献血結果報告を受けました。ご協力有り難うございました。

| | | | |
|-----|-----|-------|-----|
| 受付数 | 47名 | 200mL | 31名 |
| | | 400mL | 16名 |
| 献血数 | 35名 | 200mL | 27名 |
| | | 400mL | 8名 |



新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します。
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します。

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・医療を受ける権利
- ・知る権利
- ・自分で決定する権利
- ・プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院